

京都府立医科大学附属病院で硝子体手術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

## 硝子体手術に関する研究へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、硝子体手術に関する研究「硝子体疾患の手術成績に関するレトロスペクティブ研究」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で硝子体手術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

### 研究の目的

高齢化社会に伴い、網膜硝子体疾患、特に手術が必要となる疾患は今後とも増えていくことが予想される。新しい硝子体手術機械も数多く登場し、その評価のためにはより多くのデータを抽出、検討して更なる成績の向上を目指さなければならない。これらを自施設だけで行うことは症例数も少なく、十分な症例を集めるための時間を要するため、場合によっては多施設共同研究なども考えている。

### 研究の方法

#### ・対象となる患者様について

平成19年1月1日から現在までの間に、京都府立医科大学眼科で硝子体手術を受けられた患者様が対象となります。

#### ・方法について

糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、網膜動脈閉塞症、網膜剥離、増殖性硝子体網膜症、網膜細動脈瘤、黄斑上膜、黄斑円孔、硝子体黄斑牽引症候群、高度近視、眼内炎、Terson症候群、網膜分離症、未熟児網膜症、急性網膜壊死など様々な網膜硝子体疾患の術後データなどを抽出します。

#### ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

#### 連絡先

月曜—金曜 9時から17時

京都府立医科大学眼科外来 (075-251-5040)

担当者： 視覚機能再生外科学助教 米田一仁

上記以外の時間帯

京都府立医科大学眼科当直 (075-251-5409)

眼科当直から米田一仁へ連絡。